

幾何公差ワークショップ with YouTube

～ Level 2（最大実体公差方式と組立ての条件） ～

1. 講習会の趣旨

機械製図では、あいまいな解釈がされてはならず、そのために、ISO/JISに準拠したGPS(製品の幾何特性仕様、以下、幾何公差と略して呼ぶ)で指示する必要があります。ところが、日本での教育現場、産業の現場では、幾何公差が十分普及しているとは言えません。ものづくりがグローバル化するにつれて、幾何公差による図面の必要性が高まっています。

そこで、公益社団法人日本設計工学会（JSDE）では、動画教材をYouTubeで公開し、さらにその動画を利用したワークショップを開催して幾何公差の普及・啓蒙活動に寄与します。

2. 動画教材のチャンネルURL（閲覧 無償）

日本設計工学会では、以下のチャンネルより幾何公差の動画教材を公開しています。受講の有無にかかわらず無償で閲覧可能です。（図1は、動画教材の一例）

https://www.youtube.com/@JSDE_Kikakousa

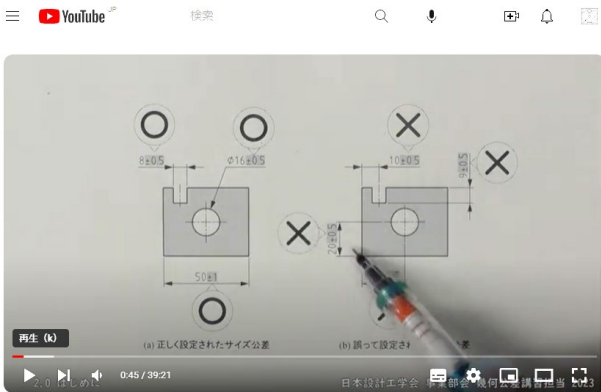


図1 動画教材の例

3. ワークショップの特長

本ワークショップでは、動画を事前に視聴したことを前提に対面で演習を行います。動画を視聴しただけでは身に付かない、サイズ公差・幾何公差を実際の図面に適用する能力を養います。

本ワークショップは、図2に示すようにレベル分けされており、現在、Lv.1～Lv.3を開講予定です。Lv.1は、サイズ公差と幾何公差を扱います。Lv.2では、最大実体公差方式（マルM）と組立ての条件を扱います。Lv.2までのワークショップによって幾何公差の理解は深まりますが、実際に図面に適用させる能力を身につけるには、Lv.3の図例検討を繰り返す必要があります。

このように、受講者の習熟度合に応じてワークショップを選択することができ、幾何公差の図面が描けるまでを総合的にサポートいたします。

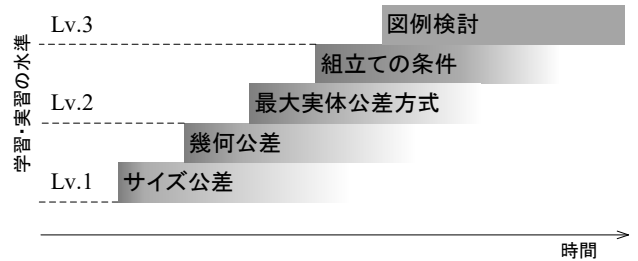


図2 幾何公差の学習イメージ

4. 日時

2024年8月30日（金）10:00～17:00

5. 場所

早稲田大学 西早稲田キャンパス 55N号館 1階 第二会議室
地図: <https://www.waseda.jp/fsci/access/>

6. 参加費（テキスト代を含まず）:

学会員 10,000円（非課税）、非会員 20,000円（税込）
学生会員 5,000円（非課税）、学生非会員 5,000円（税込）

7. テキスト:

書籍『幾何公差・公差解析実践ハンドブック』（森北出版）
Lv.1未受講の場合は別途テキスト代 6,600円（税込）

8. 申込み:

<https://forms.office.com/r/C33XsDyHGH>



締切り：2024年8月2日（金）

9. 募集人数

10名（多数の場合は抽選とします）

10. 講師

関東学院大学 准教授 鈴木伸哉

11. 問合せ先：設計工学会事務局

E-mail: jimukyoku@jsde.or.jp

※ 本ワークショップは、設計コンテスト2024の研修を兼ねています。